



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2012年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

北朝鮮ミサイル発射

沖縄上空を通過

被害情報 確認なし

【ソウル共同】日本政府は12日、北朝鮮が同日午前、人工衛星打ち上げとして予告していた長距離弾道ミサイルを北西部東倉里の「西海衛星発射場」から発射したと発表した。沖

縄・先島諸島上空を通過した可能性がある。発射が確認されれば空中爆発して失敗に終わった4月以来。警察庁によると、北朝鮮が12日発射したミサイルの部品や

破片が日本の領土内に落下したとの情報はなく、国内での被害は確認されていない。政府によると、朝鮮半島南西沖約300キロの東シナ海にもミサイルの一部が落下したとみられる。落下物は計三つと推定されている。

時に、大陸間弾道ミサイル(ICBM)の開発能力を誇示し、体制維持に向けて米国との直接交渉につながる狙いがあるとみられる。北朝鮮は1日、17日に死去1年となる金正日総書記の「遺訓」として、東倉里から10〜22日の間に地球観測衛星「光明星3号」を3段式の運搬ロケット「銀河3号」で南方向に打ち上げると発表。10日に予告期間を29日まで延長していた。



4月、北朝鮮が人工衛星打ち上げと主張して公開した長距離弾道ミサイル―北朝鮮北西部・東倉里